



# Toride Mainichi

Vol.79

発行所 (有)小沼新聞舗  
〒302-0024  
茨城県取手市新町 5-11-3  
TEL0297-73-0925 fax0297-73-0988  
http://onumashinbun.com  
E-mail: info@onumashinbun.com  
80号発行予定日平成20年11月中旬



お客さま感謝デー  
今年も、欽ちゃん率いる茨城  
コールドンゴールの試合が開  
催されます。詳細は、後日折込  
広告にてお知らせいたします。  
マザー牧場では、今50万本の  
サルビアが咲き乱れています。  
さつまいも掘りやキウイフルー  
ツ狩り・ひつじの大作進などが  
楽しめます。二月2日3日は、  
『毎日新聞・スポニチご愛読者  
感謝デー』マザー牧場』抽選会  
やお菓子のすくい取りをお楽し  
みいただけます。お楽しみ抽選  
券付入場ご招待券を申込者全員  
にさしあげます。

## ゴルフ、思い出のひとつ

岩男のパソコン日記

昭和55年、思わぬスキーの大  
怪我が原因で趣味をスキーから  
ゴルフに切り替え道具と会員権  
(東我孫子)を同時購入して  
練習に没頭、2年後の昭和57年  
に東我孫子(の)会場十周年記念  
大会に出場したら、なんと、優  
勝してしまい当時まだうら若き、  
チャコこと樋口久子プロから、  
数々の賞品を手渡されて、おめ  
でとございますと、握手され  
てかなりの興奮と感動を覚え、  
以来、すっかりゴルフの虜とな  
ってしまっただけだった。

昭和57年、仕事の関係で茨城  
県大洗町へ単身赴任となった為、  
当時まだオープンしたばかりの  
浅見(の)メンバーとなり48年  
の春、公式競技第1号、第1回  
茨城県知事杯に出たら、なんと  
これまた優勝してトロフィーに  
岡崎岩男と、自分の名前が刻み  
込まれて飾られた。その秋に行  
われた「本田宗一郎杯」に出場

した時の、思い出の一駒である。  
当時はまだ、本田宗一郎といえ  
ば、二輪車暴走族の親分だろう  
ぐらいの認識しかなかったのだ  
が浅見(の)を作った浅見緑蔵プロ  
の強力なスポンサーの一人とな  
って資金援助をした人であるこ  
とを後になって知ったのであつ  
た。

当日の朝早く東京の自宅をへ  
リコプターで飛び立ち単身で自  
ら操縦し浅見(の)南コース9番  
ホールに颯爽と降り立って浅見  
理事長外役員一同の出迎えを受  
けるあたり、やはり「世界の本  
田」ともなればやるのが違う  
なーとまず、大きく圧倒された  
のだった。

浅見理事長から、岡崎選手は  
当日本田先生と同じ組でプレー  
するようにと指示は受けてはい  
たがスタート前のミーティング  
で、理事長から直接、「公認競技  
第一号の県知事杯優勝者で、H.  
C.Pは本田社長と同じ18の岡  
崎岩男氏ですと紹介されたら、  
「おーベリグー、よきライバル  
ね」と痛いほど強い握手をして  
東コース一番のロングホールを  
スタートしたのであつた。その  
時、オン年彼57歳、俺48歳な  
のにテーショットの飛距離オー  
バードライブされてしまった。

「キャディさんは美人だし、  
パートナーはいいし、天気は晴  
朗、今日のゴルフは楽しいぞ  
い・い」と走るが如くに動き回  
り最後までニコニコしてこんな  
にもゴルフプレーを楽しむ人に  
初めて接したのであつた。昼食  
の時にこやかによく喋る。「あ  
のね、僕はね、ゴルフは特権階  
級のインテリが楽しむ贅沢な遊

びだと思つてたからずっとやら  
なかつたんですよ。昭和55年、  
50歳半ば頃に突然潔く、ゴルフ  
始動宣言をして虜になり、今や、  
J.G.A(日本プロゴルフ協  
会)の顧問までやつてるんです  
よ・い」

午後からのバックナインは、  
本田宗一郎顧問殿のエチケット、  
マナーを心掛けた横範プレーと  
言つた感じ、バンカー均し、芝  
のデポット埋め、そして同伴プ  
レーヤーへの気配りと進行等、  
さすが、J.G.Aの顧問さん  
は違つと一同、尊敬させられた  
のであつた。

戦い終わつて、「やあー、岡崎  
さん、悔しいけど、同ハンデー  
のライバルに負けちゃつたよ、  
ネット50のスリーアンダーは  
立派々々。いいゴルフをするよ、  
貴方は・い」と、褒められて五  
位賞を手渡され、表彰式が終わ  
つて別れ際に「岡崎さん、僕は、  
今日、また一人いい友達が増え  
ましたよ、また合いましようね」  
と言つて握手をしてくれた・い  
あの言葉と、感動、・いあとで  
考えて、「あの人は、間違いなく  
『世界の本田宗一郎』であつた  
ことを思い、なんと言う幸せで  
勿体無い一日だつたんだろう。」  
と、思いながら、あの2年後に  
仕事で東京へ戻り57年も東京  
通勤をしていた間に、せめて、  
一度ぐらい「世界の本田宗一郎」  
を尋ねて見る気になれなかつた  
ものかと、誠に申し訳ないよう  
な、勿体無いような気持ちに相  
成る次第。

この上は、50歳で他界され、  
静かに天国に眠る「世界の本田  
宗一郎」を私「岡崎岩男」も、

そう遠からず、天国を尋ねてゆ  
つくりとゴルフと遊びの話を伺  
いたいと思つています。

木曜会ゴルフとのお別れ、

マイホームなるものを初めて  
持つて、取手に移り住んだのは  
50歳の時、55歳まで東京都心ま  
で3通勤、完全リタイアしてア  
ジア取手(の)メンバーとなり  
宮本氏と大藤氏と出会つたので  
あつた。定年退職して、サンデ  
ー毎日族を誘いゴルフ漬け生活  
を楽しもうと集まつたサムライ  
が12名、以来、毎週木曜日に決  
まつてプレーを続けること16  
年、飽きることもなくいまだに続  
けているプライベートルコンペ・い

その始めた頃は、平均年齢が  
55歳、H.C.P7というシン  
グルプレーヤーも一人居たが、  
他の全員がH.C.P10以下の  
実力者揃いで、平均スコア、グ  
ロスで80前後というハイレベ  
ルなものだつた。

しかし、よる年波には勝てず  
飛距離の減少・い。いつまでも  
若さを誇る有名人、石原慎太郎  
氏も、昔はパシモンヘッドで  
200は飛びアルバトロスはとつ  
たが、ホールインワンはまだな  
い、今、57歳、デカヘッドで打  
つても200しか飛ばないと肉体  
の老いと凋落を嘆いて本に書い  
ている。僕チャン、アルバトロ  
スは無いけどホールインワンは  
2回あるもんね・い。

腰痛と膝痛で、10カ月ゴルフ  
を休み、整形外科医に通つたら  
80歳までも週一ゴルフを続けた  
使い過ぎ症候群だからもう無理  
ですと、ドクターストップ・い。  
悔しいことだがゴルフとはお別

なるほどマクロピオティッククッキング・・・お砂糖を使わないマクロスウィーツ・・・

日時:10月11日(土)  
時間:クッキングライブ 14:00~15:30  
受付開始 13:30~  
場所:かたらいの郷(取手市多目的福祉施設)  
講師:大久保地和子(KII マクロピオティッククッキングリーダー)  
りんごのサブレを作ります。  
定員:20名  
料金:1000円 お茶付き  
問合せ:0297-72-4477 FAX 0297-95-5265

- リンゴのサブレ【材料】 35枚くらい  
・全粒薄力粉 2カップ  
・無漂白小麦粉 1/2カップ  
・ベーキングパウダー 小さじ1/2  
・自然塩 小さじ1/4  
・ごま油 太白 大さじ2  
・リンゴ(すりおろして) 1カップ  
・リンゴの薄切り(飾り用) 適宜

### 【作り方】

- ① ザルで粉とベーキングパウダーと塩をふるう。
- ② ごま油を加えて粉となじませる。(パラパラになるまで)
- ③ すりおろしたリンゴを加えてさっくりと混ぜる。
- ④ ラップに包み、冷蔵庫でねかせる。
- ⑤ 20グラムに分け、リンゴをいちょう切りにして上にのせ、180度のオーブンで12分くらい焼く。



れすることを決心致しました。  
50年間という長い間、楽しませ  
ていただきました。本当に有難  
うございました・い・い・い  
平成19年11月19日